

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり楽しく」をモットーとし、一人ひとりの状態に合わせた対応が行われている。	○	重要事項説明書にある運営方針と外部評価の情報提供票の記載に若干の不一致があるので、統一した形に明示されることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者や家族にもわかりやすい表現で理念が掲げられており、それに基づいて日々のケアが行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域への働きかけや検討が行われているが、自治会への加入や交流についての具体的な方向性が未確定である。	○	地域の方々が、病院や施設の併設として捉えられていることから理解を得ることが難しい部分もあるが、運営推進会議などを活用し、グループホームとしての機能を生かした働きかけを継続的に行うことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果から、事業の見直しを行い、すぐに改善できる事項については、改善されているが、引き続き検討中のものもある。	○	懸案事項の解決に向けて、計画的に取り組んでいくことが求められる。

宮崎県日向市 グループホームあけぼの

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の開催を目指し取り組んでいるが、業務の関係で定期的開催が難しい状況にある。	○	会議の目的を明確化し、定期的な開催により、特に地域との関係性を深めるための働きかけに期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者も運営推進会議に出席いただいております。関係性はある。	○	地域との交流方法等についての相談などを行うとともに、サービスの質についての意見を聞く機会を多く持つことが求められる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時における状況報告や金銭管理の確認も行っている。必要時は、随時電話連絡などにより報告を行っている。	○	広報の充実により、グループホームでの取り組みについてさらに詳細な情報提供と理解の促進が求められる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族も運営推進会議に参加しており、意見を聞く機会を設けており、家族の質問にも随時対応している。	○	家族会の設立もしくは家族のみの話し合いの中から、グループホームへの意見や要望を表出できる機会を設けていくことが望ましい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	特に大きな異動はなく、交代がある場合でもなじみの関係性を損なうことなく対応できている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内研修においては、母体病院・施設における研修への参加により充実されている。また、職場外研修においても復命が行われており、研修が生かされている。	○	今後も、派遣職員も含めケアの統一に向けた研修充実と指導的立場の職員育成への取り組みを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の市内グループホーム連絡会が実施され、それぞれの検討課題など相互に意見交換がなされており、サービスの質の向上に取り組まれている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、グループホームの体験を実施し、雰囲気になじめるように配慮が行われている。また、本人や家族との話し合いにより、環境設定を工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴を尊重し、人生の先輩として職員側に学ぶ姿勢があり、支えあう関係性を築いている。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に一人ひとりの希望に応じた買い物や散歩など外出が行われており、利用者の意向を反映したケアが行われている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」（略称：センター方式）によるアセスメントを行い、ミーティングを実施し、具体的なケアの実施に向けた介護計画が作成されている。	○	家族を含めたカンファレンスの実施により、家族の協力と理解によりケアのあり方をさらに検討されることが望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	計画に基づいたケアのあり方が職員に意識づけられてきており、ケアの実施状況の評価を行い、見直しがなされている。	○	ケアチェック表に基づく実施状況の徹底を図り、カンファレンスの充実により、よりよいケアへの取り組みが期待される。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要時には家族の宿泊も行われている。ホーム見学などの受け入れが行われている。地域に開かれたホームとしての役割が生かしきれていない状況が見受けられる。	○	地域の方々が自由に訪問したり、認知症の専門性を有した職員の活用を図れるような地域介護教室の開催、緊急避難的な地域の方々の受け入れなど、地域密着型施設機能を生かした取り組みを検討されることが望まれる。

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院への受診や往診対応ができており、安心感が保たれている。他病院への受診支援も適切に対応されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化への対応についての基準が明確に示されており、入居時にも説明がなされている。また、退居該当者となった場合でも、退居後の対応が困難な場合の対応も適切に行われている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対しては、個人情報取り扱いについて十分な説明を行い、誓約書を取り交わし対応している。それに基づいて、日常的にもプライバシーの配慮が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望を十分に聞きながら、それぞれのペースに応じたケアが行われている。		

宮崎県日向市 グループホームあけぼの

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理・片づけなど利用者の状態に応じて役割があり、食事もユニットごとに職員も一緒に楽しい雰囲気で行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回以上の入浴が個浴で行われている。通常は午後の時間設定である。	○	職員の勤務体制が厳しい状況にあるが、利用者の希望や状態に応じて、夜間入浴の検討も望まれる。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	敷地内の畑に季節の野菜を栽培したり、梅干や味噌作りなどを利用者が行うなど、役割や楽しみごとを多く取り入れたケアが行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物への支援は毎日のように行われている。また、ドライブや散歩、花見など年間通して行事を組み立て、外出支援が行われている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム周りの環境により、門扉の鍵と2階の鍵をかけている。	○	立地的環境もあり、危険性を回避しての対応であることはやむを得ないと理解できるが、職員体制の充実、勤務形態の工夫（特に夕方から夜間帯は一人で対応している）と配慮により、鍵をかけないで良い環境設定を前向きに検討されることが望まれる。

宮崎県日向市 グループホームあけぼの

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防避難訓練を実施している。また、月1回の消防シュミレーションも行っている。	○	2階からの安全な避難方法を検討することが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が一緒に食事をしながら、食事摂取量を確認し、促している。補助食品を活用し、栄養摂取を確保している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下などに手作りの作品を掲示するなど居心地の良い空間を作り出している。テーブルに季節の花を飾るなど、生活感や季節感を取り入れている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好みの飾り物や写真などを飾っている。作りおきの家具があるので、大きなものはあまり持ち込まれていない。	○	さらに、利用者の希望に応じ、その人らしさの居住空間を整えていくことが期待される。

※  は、重点項目。